



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月14日

上場会社名 株式会社 I D O M 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL https://221616.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 由宇介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務・IRセクションリーダー (氏名) 松本 雅之 TEL 03 (5208) 5503
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 2021年11月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	227,775	27.9	9,440	132.9	9,011	186.3	5,311	286.1
2021年2月期第2四半期	178,109	△0.7	4,053	△12.3	3,147	△13.4	1,375	△35.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 5,446百万円 (176.6%) 2021年2月期第2四半期 1,969百万円 (76.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	52.90	—
2021年2月期第2四半期	13.67	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	176,910	49,905	27.5	483.80
2021年2月期	177,222	45,015	24.8	438.18

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 48,577百万円 2021年2月期 43,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	5.30	—	5.30	10.60
2022年2月期	—	2.30	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	2.30	4.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,400	6.5	15,000	41.9	13,900	44.2	8,000	438.8	79.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	106,888,000株	2021年2月期	106,888,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	6,480,631株	2021年2月期	6,480,601株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	100,407,399株	2021年2月期2Q	100,651,994株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実績の業績等は様々な要因により上記業績予想とは異なることがあります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)における国内直営店の小売台数は、72,694台(前年同期比3.0%増)となり、第2四半期累計期間の実績としては過去最高となりました。その要因は以下の2点です。

①前期に新規出店した大型店が稼働したこと。

②効果的な広告投下により、大型店を含む既存店の来店客数の増加が図られたこと。

豪州子会社においては、鉄鉱石価格の上昇に起因する西オーストラリア市場の好況を背景に、新車販売台数が増加しました。また、西オーストラリアにおいては、従来から強化している中古車販売が好調を維持しました。加えて、為替相場が前年同期比で豪ドルに対して円安で進行したこともあり、豪州子会社は増収増益となりました。

連結の販売費及び一般管理費は、前期に感染症関連損失として販売費及び一般管理費から特別損失に振替処理したことに対する反動と、円安の進行の影響により増加しました。一方で、小売台数が過去最高となる状況においても、ネット集客の効率化によって広告宣伝費は減少しました。

本社移転に伴う退去費用として、現本社の固定資産の未償却残高の費用化及び原状回復費用等、合計870百万円を特別損失に本社移転費用として計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の実績は、売上高227,775百万円(前年同期比27.9%増)、営業利益9,440百万円(前年同期比132.9%増)、経常利益9,011百万円(前年同期比186.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,311百万円(前年同期比286.1%増)となり、それぞれ第2四半期連結累計期間の実績として過去最高となりました。

地域セグメント別の業績は以下のとおりです。

a. 日本

売上高157,192百万円(前年同期比13.1%増)、セグメント利益(営業利益)7,113百万円(前年同期比98.8%増)となりました。前期に新規出店した大型店の稼働、既存店の来店客数の増加などにより小売台数が増加しました。

b. 豪州

売上高69,499百万円(前年同期比81.5%増)、セグメント利益(営業利益)2,401百万円(前年同期比166.8%増)となりました。鉄鉱石価格の上昇に起因する西オーストラリア市場の好況を背景に、新車販売台数が増加しました。また、従来から強化している中古車販売が好調を維持しました。加えて、為替相場が前年同期比で豪ドルに対して円安で進行したこともあり、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産の部]

当第2四半期連結会計期間末の資産の部合計は、176,910百万円(前期末比0.2%減)となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加(前期末比4,323百万円増)した一方、受取手形及び売掛金が減少(前期末比2,947百万円減)したことや、商品が減少(前期末比1,418百万円減)したことなどにより、126,745百万円(前期末比0.1%増)となりました。

固定資産は、建物及び構築物が減少(前期末比680百万円減)したことや、無形固定資産が減少(前期末比1,378百万円減)した一方、建設仮勘定が増加(前期末比1,316百万円増)したことなどにより、50,164百万円(前期末比0.9%減)となりました。

[負債の部]

当第2四半期連結会計期間末の負債の部合計は、127,004百万円(前期末比3.9%減)となりました。

流動負債は、買掛金が減少(前期末比2,335百万円減)したことや、前受金が減少(前期末比459百万円減)したことなどにより、44,188百万円(前期末比7.0%減)となりました。

固定負債は、長期借入金が増加(前期末比1,692百万円増)したことなどにより、82,815百万円(前期末比2.2%減)となりました。

[純資産の部]

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部合計は、利益剰余金が増加(前期末比4,755百万円増)したことなどにより、49,905百万円(前期末比10.9%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想は、2021年7月14日に公表しました「2022年2月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「2022年2月期第2四半期 業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,179	47,502
受取手形及び売掛金	6,875	3,927
商品	72,913	71,494
その他	3,966	4,160
貸倒引当金	△328	△340
流動資産合計	126,605	126,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,918	36,053
減価償却累計額	△16,411	△16,227
建物及び構築物(純額)	20,507	19,826
車両運搬具	153	114
減価償却累計額	△32	△35
車両運搬具(純額)	121	78
工具、器具及び備品	4,335	4,053
減価償却累計額	△3,606	△3,295
工具、器具及び備品(純額)	729	757
土地	218	136
建設仮勘定	121	1,438
有形固定資産合計	21,697	22,237
無形固定資産		
ソフトウェア	1,717	1,508
のれん	7,698	7,228
その他	4,996	4,297
無形固定資産合計	14,412	13,034
投資その他の資産		
投資有価証券	139	130
関係会社株式	131	129
長期貸付金	30	59
敷金及び保証金	5,835	5,838
建設協力金	4,614	4,567
繰延税金資産	3,253	3,702
その他	544	507
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	14,506	14,892
固定資産合計	50,616	50,164
資産合計	177,222	176,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,940	18,604
短期借入金	1,117	1,078
1年内返済予定の長期借入金	342	—
未払金	4,586	5,262
未払法人税等	2,052	3,078
前受金	9,010	8,551
預り金	205	260
賞与引当金	1,167	1,130
商品保証引当金	737	829
その他の引当金	715	878
その他	6,658	4,514
流動負債合計	47,534	44,188
固定負債		
長期借入金	79,169	77,477
長期預り保証金	506	564
資産除去債務	2,546	2,261
繰延税金負債	1,616	1,522
その他の引当金	584	669
その他	249	321
固定負債合計	84,672	82,815
負債合計	132,206	127,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,384	4,361
利益剰余金	39,665	44,420
自己株式	△4,344	△4,344
株主資本合計	43,862	48,594
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	134	△17
その他の包括利益累計額合計	134	△17
非支配株主持分	1,018	1,328
純資産合計	45,015	49,905
負債純資産合計	177,222	176,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	178,109	227,775
売上原価	144,145	185,308
売上総利益	33,963	42,466
販売費及び一般管理費	29,910	33,025
営業利益	4,053	9,440
営業外収益		
受取利息	22	15
為替差益	5	—
補助金収入	—	26
その他	15	52
営業外収益合計	42	93
営業外費用		
支払利息	547	464
為替差損	—	55
持分法による投資損失	366	0
その他	35	4
営業外費用合計	948	523
経常利益	3,147	9,011
特別利益		
有形固定資産売却益	—	15
補助金収入	1,232	4
受取補償金	—	25
その他	7	2
特別利益合計	1,239	47
特別損失		
固定資産除却損	234	187
店舗閉鎖損失	34	—
感染症関連損失	1,333	2
本社移転費用	—	870
その他	66	47
特別損失合計	1,669	1,107
税金等調整前四半期純利益	2,717	7,951
法人税、住民税及び事業税	968	2,801
法人税等調整額	251	△513
法人税等合計	1,220	2,288
四半期純利益	1,497	5,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	351
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,375	5,311

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	1,497	5,662
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	535	△233
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	17
その他の包括利益合計	472	△216
四半期包括利益	1,969	5,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,807	5,159
非支配株主に係る四半期包括利益	161	286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,717	7,951
減価償却費	1,446	1,406
のれん償却額	330	239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	52	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	251	△36
商品保証引当金の増減額(△は減少)	59	92
受取利息及び受取配当金	△22	△15
持分法による投資損益(△は益)	366	0
支払利息	547	464
為替差損益(△は益)	40	189
補助金収入	△1,232	△30
固定資産除却損	234	187
感染症関連損失	1,333	2
本社移転費用	—	870
売上債権の増減額(△は増加)	265	2,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,638	588
未収消費税等の増減額(△は増加)	69	△20
未収入金の増減額(△は増加)	271	△228
未払消費税等の増減額(△は減少)	759	△2,390
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,085	△1,780
未払金の増減額(△は減少)	△389	△138
預り金の増減額(△は減少)	120	54
未払費用の増減額(△は減少)	256	△408
その他	627	862
小計	17,661	10,341
利息及び配当金の受取額	20	15
利息の支払額	△544	△461
法人税等の支払額	△1,586	△1,815
補助金の受取額	1,232	4
感染症関連損失の支払額	△1,333	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,448	8,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△443	△1,079
有形固定資産の売却による収入	—	130
無形固定資産の取得による支出	△352	△230
資産除去債務の履行による支出	△91	△18
貸付けによる支出	△63	△41
関係会社株式の取得による支出	—	△8
敷金及び保証金の差入による支出	△18	△93
敷金及び保証金の回収による収入	154	91
建設協力金の支払による支出	△31	△171
建設協力金の回収による収入	305	218
その他	6	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533	△1,204

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	108	24
長期借入れによる収入	234	—
長期借入金の返済による支出	△45	△1,950
自己株式の取得による支出	△397	△0
配当金の支払額	△61	△536
非支配株主からの払込みによる収入	370	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	208	△2,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	116	△107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,240	4,306
現金及び現金同等物の期首残高	37,295	43,179
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	16
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,536	47,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	138,941	38,289	877	178,109	—	178,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	—	—	21	△21	—
計	138,963	38,289	877	178,131	△21	178,109
セグメント利益又は損失(△)	3,578	900	△53	4,425	△371	4,053

(注)1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△371百万円には、セグメント間取引消去△41百万円及びのれん償却額△330百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	157,192	69,499	1,083	227,775	—	227,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	157,192	69,499	1,083	227,775	—	227,775
セグメント利益	7,113	2,401	125	9,641	△200	9,440

(注)1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△200百万円には、セグメント間取引消去39百万円及びのれん償却額△239百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年9月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社モーターレングローバル及び株式会社モーターレングランツの全保有株式を譲渡することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を株式会社モーターレナビオと締結いたしました。その後、同年9月30日及び10月1日に株式譲渡を完了いたしました。

1. 株式譲渡の理由

当社は、「資本効率の高い中古車大型店の展開」と「最新設備を備えた整備工場の展開」を、国内での今後の成長戦略の柱に据えております。経営資源をより集中させてこれらを一層推進するために、北海道旭川市及び千葉県西部で展開しているBMW及びMINIの新車ディーラー事業からは撤退する判断に至りました。

2. 譲渡する子会社の概要

①株式会社モーターレングローバルの概要

(1)名称	株式会社モーターレングローバル
(2)所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号東京ビルディング
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 羽鳥 由宇介(戸籍名:羽鳥 裕介)
(4)事業内容	BMW社製乗用車の販売及び整備、修理部品・アクセサリー販売
(5)資本金	5百万円
(6)設立年月	2012年11月
(7)大株主及び持分比率	株式会社IDOM 100%

②株式会社モーターレングランツの概要

(1)名称	株式会社モーターレングランツ
(2)所在地	千葉県市川市原木一丁目2番3号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 羽鳥 由宇介(戸籍名:羽鳥 裕介)
(4)事業内容	BMW社製乗用車の販売及び整備、修理部品・アクセサリー販売
(5)資本金	50百万円
(6)設立年月	2001年12月
(7)大株主及び持分比率	株式会社モーターレングローバル 100%

※2021年9月16日に当社が株式会社モーターレングローバルの増資を引き受け、同日に株式会社モーターレングローバルが株式会社モーターレングランツの増資を引き受けました。これにより、株式会社モーターレングローバルの資本金は473百万円、株式会社モーターレングランツの資本金は473百万円となっております。

3. 株式譲渡先の相手の概要

(1)名称	株式会社モーターレナビオ
(2)所在地	茨城県土浦市永国東町10番2号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 安達 正純
(4)事業内容	BMW社製乗用車の販売及び整備、修理部品・アクセサリー販売
(5)資本金	10百万円
(6)設立年月	2008年6月

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

①株式会社モーターレングローバルの株式

(1)譲渡前の所有株式数	94,200株(議決権所有割合:100%)
(2)譲渡株式数	94,200株
(3)譲渡価額	譲渡先の意向による合意に基づき非開示としております。
(4)譲渡後の持分比率	0株(議決権所有割合:0%)

②株式会社モーターレングランツの株式

(1)譲渡前の所有株式数	17,320株(議決権所有割合:100%)
(2)譲渡株式数	17,320株
(3)譲渡価額	譲渡先の意向による合意に基づき非開示としております。
(4)譲渡後の持分比率	0株(議決権所有割合:0%)

5. 日程

- | | |
|------------|-------------------|
| (1)取締役会決議日 | 2021年9月15日 |
| (2)契約締結日 | 2021年9月15日 |
| (3)株式譲渡実行日 | 2021年9月30日及び10月1日 |

※2021年9月30日に、株式会社モトーレングローバルが保有する株式会社モトーレングランツ株式を譲渡し、2021年10月1日に、当社が保有する株式会社モトーレングローバル株式を譲渡いたしました。

6. 今後の見通し

連結業績への影響

株式会社モトーレングローバル及び株式会社モトーレングランツは、1月～12月の会計期間を連結決算に取り込んでいます。当期（2022年2月期）には、2021年1月～9月の9ヵ月間の損益を連結する見込みであり、当該株式譲渡が通期の売上高・営業利益・経常利益の業績予想に与える影響は軽微です。

当該株式譲渡に伴い、当第3四半期において特別損失として関係会社株式売却損を、連結財務諸表上は約3億円、個別財務諸表上は約9億円計上する見込みですが、法人税等の減額見込みも含めると親会社株主に帰属する当期純利益及び個別当期純利益への影響は限定的です。

当該株式譲渡は、来期（2023年2月期）において減収要因にはなりますが、営業利益の増減への影響は軽微と見込んでおります。また、資本効率（ROIC等の指標）は改善されると見込んでおります。